

市立病院の経営状況についてお知らせします

平成22年度 仙北市病院事業

平成22年度 仙北市病院事業 上半期実績（4月～9月）

項目		角館総合病院		田沢湖病院		2病院合算	
		前年度実績	実績	前年度実績	実績	前年度実績	実績
収入	医業収益	2,103,920	2,020,945	406,297	449,740	2,510,217	2,470,685
	医業外収益	205,094	205,138	76,991	105,105	282,085	310,243
	経常収益 (A)	2,309,014	2,226,083	483,288	554,845	2,092,302	2,780,928
支出	医業費用	2,114,831	2,136,091	494,366	543,917	2,609,197	2,680,008
	医業外費用	11,473	12,656	14,405	13,747	25,878	26,402
	経常費用 (B)	2,126,305	2,148,747	508,771	557,664	2,635,076	2,706,410
経常損益 (A) - (B)		182,709	77,336	△ 25,483	△ 2,819	157,226	74,518
経常収支比率 上：実績数値 下：年間目標		108.6	103.6 (97.3)	94.9	99.4 (90.1)	106.0	101.5 (95.1)
医業収支比率 上：実績数値 下：年間目標		99.4	94.6 (94.4)	82.1	82.6 (88.0)	96.2	88.6 (93.1)
病床利用率 上：実績数値 下：年間目標		84.4	85.4 (81.4)	69.1	78.5 (70.0)	82.0	88.1 (79.3)

概ね経常収支均衡の水準とされる数値

角館総合病院の場合 経常収支比率 99.1% 医業収益比率 93.3% 病床利用率 79.3%（うち一般病床 81.1%）

田沢湖病院の場合 経常収支比率 101.2% 医業収益比率 85.7% 病床利用率 73.5%

角館総合病院の概要

入院・外来ともに延患者数の減がありました。平成21年6月より一般病床8床、精神病床20床の計28床を減じたことや、内科系診療科の医師不足から外来診療では非常勤医師に頼らざるを得ず、診療に当る医師が固定できないこと等の影響によるものと考えられます。

収支の状況では、診療単価の増により、上半期では77,336千円の純利益を計上することができましたが、例年燃料費をはじめとする施設管理費等諸経費の増大が下半期に集中する傾向にあることから、引き続き地域の中核病院としての使命を認識し、経営の安定合理化に向けて取り組みます。

田沢湖病院の概要

入院・外来ともに延患者数が増加し、入院は障害者施設等一般病棟の継続に努めたこと、外来は専門外来の充実を図ったこと等によるものが主な要因と考えられます。

収支の状況では、前年度同期に比べ88.9%減の2,819千円の当期純損失に止めることができました。しかし、例年下半期に経費の増大がみられることや、医療機器の修繕費などの不確定要素が大きいことなど予断を許さない状況ですので、引き続き地域から信頼される健全な病院経営に取り組みます。

◇用語の解説◇

医業収益	入院収益・外来収益・分娩料・文書料などの収入のほか、救急医療に要する他会計からの繰入金が含まれます。	経常費用	医業費用 + 医業外費用
医業外収益	施設使用料・預金利息など医療に直接関連のない収入のほか、一定のルールによる他会計からの繰入金が含まれます。	経常損益	経常収益 - 経常費用
経常収益	医業収益 + 医業外収益	経常収支比率	経常収益 ÷ 経常費用 × 100
医業費用	職員給与費・材料費・諸経費・研究研修にかかる費用のほか、現金の支出を伴わない減価償却費が含まれます。	医業収支比率	医業収益 ÷ 医業費用 × 100
医業外費用	企業債利息など医療に直接関連のない費用です。	病床利用率	年延入院患者数 ÷ 年間稼働病床数 × 100